



ごみを護美に きちんと分けて、温暖化を防止し 環境に優しく、住みよいまちにしよう

今年も、猛暑、集中豪雨、竜巻などの異常気象が各地に多発しました。地球の温暖化が主な原因といわれ、ゴミ問題も関係しているとのことです。編集委員が富士見環境センター・リサイクルプラザ利彩館を訪ね、ゴミを扱う状況を見、問題点などをお聞きしました。

私たちの子や孫の時代になって、親たちがもっと資源を大切にしておいてくれたら良かったんだけど、なんて言われないように改めて考えてみたい…です。

温暖化防止(その1)

燃えるごみだけにしよう

燃えるごみの中には、約20%も資源ごみや燃えないゴミが混じっています。

- ・金属や陶器類がほとんどで、安全上も不安です。
灰の中に金属が入っていると、焼却灰の受け入れ先で受け入れを拒否されてしまいます。灰の中から拾い出される金属類は、一日で約500kgにもなります。
- ・乾電池、ライターは、専用の赤い収集容器に入れましょう。
- ・スプレー缶は、火災・爆発の危険性があるため、必ず屋外で缶内のガスを抜き（穴を開ける）、ビン容器（黄色のかご）に入れてください。

ゴミ減量に努力しています

◎生ごみを堆肥に

家庭菜園にコンポストを置き、台所の生ごみで堆肥を作っています。おかげさまで、今夏も、ナスやキューリ、トマトなどがたわわに実り、おいしくいただきました。

◎廃油で石ケン作り

町会の行事で石ケン作りに参加しました。うすぐにこった天ぷら油が、白くすべすべした固まりになったのでびっくり。洗濯に使うようにといわれましたが、お風呂で体洗いに使い、洗い上がりがしつとりし、体によさそうなので愛用しています。

◎みんなで資源回収

関沢2丁目旭町会をはじめ鶴瀬西地域の町会では、防災用品購入などを目的に資源回収に取り組んでいます。

◎まちをきれいに

関沢4町会合同では、市の「富士見市をきれいにする日」に合わせてクリーン作戦を年2回実施しています。



温暖化防止(その2)

燃えるごみを減らそう

収集されるごみの85%は、燃えるごみです。

- ・資源、不燃、可燃など、分別を正しくする。
- ・生ごみは、水切りネットを使用したり、一晩置いてから捨てたりして、出来るだけ水分を切る。
- ・生ごみは、堆肥にして土に返す。
- ・お店でレジ袋をもらわず、マイバックを使う。



温暖化防止(その3)

ごみを再利用・再資源化しよう

1 ごみ集積所に出すときの大まかな分類目安

- (1) 再利用や資源として使える新聞や雑誌、びん、カン類等
- (2) 燃やして灰になる生ごみや木片、汚れたプラスチック類等
- (3) 埋め立てて処分するしかない瀬戸物や金属を含む物で、
(1) と (2) 以外の物

2 ごみの分類と出し方

- (1) 資源ごみ：週1回収集
紙・布類：ひもでしばり集積所に
ビン類：集積所にあるビン用の容器に
カン類：集積所にあるカン用の容器に
ペットボトル：集積所にある専用の網袋に
資源プラスチック：集積所にある専用の網袋に
乾電池やライター等の有害ごみ…集積所にある赤い箱に
- (2) 可燃ごみ：週2回収集…中が透けて見える袋に入れて集積所に
- (3) 不燃ごみ：週1回収集…集積所にある不燃用の容器に
- (4) 粗大ごみ；電話で市役所環境課に申込み



豆知識

◎ごみは生まれかわります

燃えるごみ…焼却灰→埋め立て／余熱→温水
ビン…生ビン→再利用 資源化→ブロック等
カン…資源化→やかんや建築資材
ペットボトル…資源化→エプロンや軍手等
資源プラスチック…資源化→軽質油やタール等

◎発砲プラスチックは可燃ごみです

圧縮梱包するとき粉々になるので、資源ごみになりません。

◎燃えるごみの量と費用

富士見環境センターに持ち込まれた1年間の可燃ごみの量は、約8万5千トン。市民一人当たり6,500円の処分費用がかかっています（平成24年度データ）。

◎レジ袋を節約したときに浮く経費

国民1人あたり年間234枚のレジ袋を使用しています（環境省のデータ）。これをレジ袋1枚8グラムに換算すると、富士見市で204トン、収集車100台分の経費が浮きます。分別すればCO2削減にもなります。

◎「富士見市をきれいにする日」の実施（年2回）

5月と11月に実施。次回は、11月30日です。

◎不用品の再利用

家庭から持ち込まれた不用品が利彩館で立派に再生され、展示販売されています。

◇環境センター訪問記◇

これまで自分なりにごみの減量や分別には努力しているつもりでした。が、環境センターを見学し、担当者のお話を聞いて反省したことがあります。

流しの三角コーナーの生ごみは、食事ごとに小さなビニール袋に入れてごみ箱に捨てていたのです。集積所に出す大きなごみ袋の中にいくつも小さなビニール袋が入っていたことか。これを紙に替えるとCO2削減になると思い、さっそくご近所の方が広告の紙で作ってくれたゴミ入れに取り替えました。

一人ひとりの小さな努力でまだまだごみは減らせるんですね。（編集委員M）

